社会福祉法人 茨木市社会福祉協議会

いばらきし

社協だより

No.191
平成29年11月1日
発行

持ちつ持たれつ 地域のつながり

もくじ

敬老会・金婚祝賀などで活躍する福祉委員 2
社協のしごと……3
ちいき・いきいき・いばらき…… 4・5
見つけた！社協力……6
社協からのお知らせ……7
ボラセン通信……8

心温まる笑顔いっぱいの敬老会

今年も敬老の日を中心に、各地区福祉委員会による様々な趣向を凝らした敬老会が開催されました。

式典の後、子どもの出し物では会場内も笑顔の花が満開になり、大人の出し物ではしっとりとした穏やかな雰囲気になる等、世代それぞれの良さを活かした温かな催しとなりました。参加された皆さんも「また来年も楽しみにしています」と満足そうに会場を後にされました。

福祉茨木
〒567-0888 大阪府茨木市駅前4-7-55 福祉文化会館4F
TEL. 072-627-0033 FAX. 072-627-0434
（平日午前8時45分～午後5時15分）

茨木市社協

「社協だより」は共同募金配布金により発行しています。

ここにもそこにも 身近な存在

社協のしごと 11

介護予防・日常生活支援総合事業

平成29年度から本格スタートした〝総合事業〟とは？

介護予防・日常生活支援総合事業（以下、総合事業）は、出来るだけ要介護状態に陥らないよう、一人ひとりの心身の状態に応じ、住み慣れた自宅で自立した生活が続けられるように支援する事業です。

利用者の様々なニーズに対応できるよう、茨木市独自のサービスを提供しています。

茨木市としてはどんなことを取り組んでいるの？

「○○さん、洗濯物はベランダに置いときますね」

「ありがとう。洗濯物を2階に持って上がるのが大変なのよね。干すだけなら大丈夫だから」

「でも、無理はしないでね。じゃあ、私はこちらの部屋で掃除機をかけておきますね」

これは、腰に負担の掛かる作業が困難な利用者さんとシニアスタッフが、二人で洗濯物干しと掃除の分担を相談している会話です。

65歳以上の方で、「ほぼ身のまわりのことは自分で出来るけど、自分ではどうしても出来ない（生活機能の低下）部分だけを助けてくれたら…」そんな方々の生活をサポートするのが、茨木市の総合事業『訪問型サービスA』というサービスです。

従事しているのは、60歳以上でヘルパーの資格を持つ、ある

いは茨木市が行う『訪問型サービスA従事者養成研修』を終了した方々です。元気なシニア世代の方々が、地域において新たな支え合いの仕組みづくりの一役を担っています。

社協とシルバー人材センターとの協働

従事している越智さんは、「誰でも〝他の人に手伝ってもらわず自分で…〟と思うでしょうが、1つのことだけが難しいばかりに、日常生活全てに影響してしまう。私達に出来ることはほんの少しのことでしょうが、それでも私達のわずかな力が、利用者の皆さんを支えることが出来る。また、自立や介護予防のお役に立っているのだと思うと、やり甲斐を感じます」とのこと。

社協では、シルバー人材センターとの協働で、この「訪問型サービスA」の事業を実施しており、従事していただく方の募集を行っています。特にヘルパー資格を持つ60歳以上の皆さん、「生活支援」の仕事をやってみませんか。興味のある方、まずはご連絡を。お待ちしています。

＊シルバー人材センターについての詳細は本紙6ページ参照

介護予防と自立に向けて！～私たちシニアスタッフがサポートします～

訪問型サービスA

料金　1回あたり220円
時間　45分
＊調理やごみ出しも出来ます

連絡先　**いきいき支えあいセンター**
電話　652-4570

わかるかな？

手話で「お年寄り」はどのように表すのかな？

こたえは7面で！

敬老会・金婚祝賀などで活躍する 福祉委員

準備や片づけだけでなく、受付で参加者を温かく迎えることも大切な仕事です

表紙で紹介している敬老会や金婚祝賀は、地区福祉委員会が運営しています。毎年各地区では、心温まる“明るく楽しい敬老会”が開催されていますが、そこに至るまでには、裏方で頑張っている福祉委員の力は欠かせません。今回は、そんな陰の立て役者である福祉委員の方々の、苦労や喜びの話を聞かせていただきました。

福祉委員

中条地区 **多門**さん

誰かのために役に立ちたいという思いと、活動視野を広げたいという思いから、福祉委員と民生委員両方の役を受けました。

敬老会だけでなく、サロンや会食会など多くの事業があり、その準備は大変ですが、当日参加される方の笑顔を直接見ることや、参加された方から「良かったよ、ありがとう」と言ってもらえる時はしんどさも吹き飛び、自分自身も嬉しくなります。

自分の住んでいる地域の方を手助け出来ることが、私にとってのやり甲斐ですので、これからも、１人でも多くの方が笑顔を作れるように頑張っていきたいです。

玉島地区 **川那邉**さん

日頃から地域の皆さんにはお世話になっているので、今回の敬老会も感謝の気持ちを持って取り組ませていただきました。

福祉委員会の取り組みは、大変な時もあるけれど、自分たちが関わった分だけ皆さんも親しみを持って接してくださることがとても嬉しいのです。また、何より参加者の皆さんがとても楽しんでいただいているのが一番です。

今後も、様々な福祉委員会の活動を通して知らない顔がなくなり“持ちつ持たれつ”と“周りの人との繋がり”を感じられる地域にしていきたいですね。

耳原地区 **後藤**さん

「敬老会のお土産は何にしようか、今回の会食会のメニューは…」取り組んでいる最中は無我夢中で頭を悩ませていますが、参加者の方が帰り際に「楽しかったよ、ありがとう」と、わざわざこちらに言いに来ていただいたり、参加者が毎年少しずつでも増えていくのを見ると、私たちの活動が皆さんに喜んでもらえているのが伝わり嬉しくなりますし、また、以前は委員会の会計も担当していたので、地域の皆さんが賛助会員となりご協力いただけることも、活動の励みになります。

地域の福祉活動は、確かにボランティア精神が必要ですが、四六時中忙しいわけでもないし、それよりも委員として、立場を超えた喜びを得られることがより魅力だと感じています。

元福祉委員

玉島地区 **松本**さん

今までは“福祉委員”として敬老会には関わっていましたが、引退して２年。今回は70歳になって招待者として初参加しました。

福祉委員として、準備の時に頑張っていた所や当日の進行上で気を付けていた部分などが、「招待者の目線ではこのように映っていたんだなぁ」と、同じ行事を運営者側と参加者側との両方の視点で見られて不思議な感じもしましたが、とても楽しかったです。

今回のPICK UP地区

地区福祉委員会の活動レポート

ちいき いきいき いばらき

地区福祉委員会とは

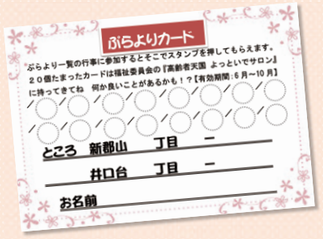
「誰もが安心して住み続けられる福祉のまち」づくりを目指して、身近な地域での様々な暮らしの問題に、自分たちで取り組むための民間組織です。いきいきサロン、会食サービス、子育てサロンなどの活動を行っています。

※これらの活動には賛助会費が使われています。

新郡山地区　外出の機会を増やす仕掛け『ぷらより』がスタート!!

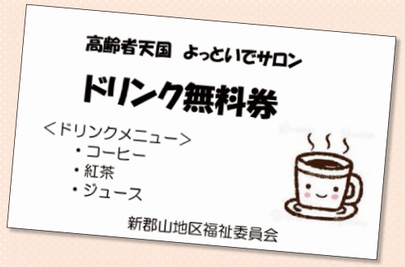
新郡山地区では、福祉委員会や地域の団体が手を組み、“地域の誰もがぷらっと立ちよれる居場所づくり”に取り組んでおり、高齢者が地域活動に積極的に参加する機会を作りながら住民同士の交流機会も増やしていく。これが「ぷらより」です！！

「ぷらよりでは」では、【ぷらよりカード】をみなさんに持ってもらい、福祉委員会の他、各団体主催の対象事業に参加してスタンプを貯めると、それが福祉委員会のぷらっとホーム事業『高齢者天国　よっといでサロン』のドリンク無料券と引き換えることができるなど、様々な創意工夫を凝らしています。



今後もより多くの地域の団体と協力しながら、“何よりも楽しみながら”をモットーに、より良い地域づくりを進めていきます。

カフェに立ち寄る感覚でみんな集まります



西地区　夫婦の歩みも様々　結婚50年の祝賀会

金婚祝賀で市長、社協会長から寿詞、記念品の贈呈

背には金屏風、手前には高砂人形。そして、そのセットに一組ずつ立って記念撮影。これが西地区金婚祝賀の恒例行事。ご主人の腕を引っ張って寄り添ったり、お互い背筋を伸ばして“ピシッ”と決めたり。それぞれ夫婦仲睦まじい光景をいつも目にします。

お一人で出席された方も、最初は撮影を遠慮されていましたが、「以前、○○さんもお一人でしたが撮られてましたよ」と福祉委員に勧められると、最後は微笑んでパシャリ。お一人で寂しいかとは思いますが、やはり夫婦で歩んだ証ですからね。

その後は、食事と落語の余興、ご歓談をしばし楽しまれ、「あっという間で、50年なんて感じないわ」「嵐も波もあったなぁ」と、それぞれ懐かしい日々を思い返されておられました。今日がみなさんにとって新しい記念の日になっていれば幸いです。

桂華紋さん「崇徳院」

夫婦の馴初めのお話でひと笑い

天王地区　みんなで歌えば自然と笑顔に　ひとり暮らし昼食会

思い出の曲で、表情も緩みます

今回の昼食会のメインはピアノ伴奏での合唱。「瀬戸の花嫁」「お富さん」などを披露した後、「次のリクエストをどうぞ」と尋ねるも、最初はあまり反応はなく、「盛り上がりに欠けるかなぁ…」と見ていましたが、するとコッソリ手招きが。「この人○○が歌いたいらしいよ」と。やはり最初から名乗り出るのは緊張しますよね。

気持ちがほぐれてくると、どんどんリクエストが飛んできて、伴奏者が慌てるほど。

懐かしい気持ちもわかち合い、美味しいお弁当も食べて、会場は和やかな笑顔に包まれていました。

豪華な伴奏のもと、合唱が部屋に響きます♪

ひとり暮らし昼食会

対　象：ひとり暮らし高齢者（概ね75歳以上）
日　時：不定期（特別開催）
場　所：天王公民館
利用料：無料

畑田地区　予想外!?　大入り満員の初！子育てサロン

「近所の人を誘ったから２人くらいは来てくれると思んだけど…」と不安な声が。そして向こうでは準備中に何故かみんなソワソワ。なんてったって今日は、“初めての子育てサロン”。準備は完了、あとはみなさんの来所を待つだけですが…。

「受付時間になったけど…」と心配で玄関に行くと、来てくれました、初めてのお客様第一号。とりあえず一同一安心。するとその後は、我々福祉委員の不安をよそに、あれよあれよという間に大入り満員。その盛況ぶりと子どもたちの無邪気な笑顔に、福祉委員もみんなつられて微笑みが。参加者からは「友達が作れるかなと思って」「家の中だと同じおもちゃばかりなので子どもも大喜び」と嬉しい意見がいっぱいの初開催でした。

きょうだいがいる方は福祉委員も一緒にお手伝い

保育士の先生と一緒に音楽でノリノリ♪

畑田子育てサロン

対　象：未就園のお子さんとその保護者
日　時：不定期（特別開催）
場　所：畑田コミュニティセンター
利用料：無料

※次回もみなさんに喜んでもらえるよう頑張って企画します

各地区の催しの日時については、社協ホームページをご覧いた だくか、事務局までお尋ねください。 TEL. **072-627-0033**

見つけた！ 社協力

茨木市社協と協力・協働して地域福祉を推進し、地域の力となっていただいている団体を紹介します。

公益社団法人
茨木市シルバー人材センター

シルバー人材センターは、定年退職後等において雇用関係でない臨時的・短期的な就業を希望する高齢者が、豊富な知識と経験を生かした仕事をすることで、高齢者の健康の増進と生きがいの充実を図るとともに、活力ある地域社会づくりを目指す組織です。

今は社協と共に「訪問型サービスA」の訪問介護事業（本紙3ページ参照）も行っています。

茨木市シルバー人材センター × 茨木市社協

質問①　あなたにとっての〝街〟とは？

茨木市は、地域の様々な関係団体同士で上手く連携が出来ているので、チームワークも良く、いろいろな事が一緒に出来る良さがある過ごしやすい街です。

これからも、シルバー人材センターを通じて高齢の方が働くことで、地域の或いは地域活動の発展に向けて力になれるように、そして茨木市全体が盛り上がるように、みなさんと一緒になって進んでいきたいと思っています。

質問②　これからどのような地域を目指したいですか？

各関係機関と連携をすることで、色々な知識やノウハウを学んでいき、社会福祉協議会と一緒に実施している「訪問型サービスA事業」等も含め、幅広い分野で一人でも多くの方を手助け出来る、支え合っていける地域を目指していきたいです。

現在は、茨木市内中心部の方々への軽作業や家事手伝いといったサービスが利用の中心となっているので、早急に支援体制を整備して、その方の人生に寄り添いながら、茨木市全体に根付く『地域住民の近くにいる団体』となっていきたいです。

茨木市献血推進協議会からのお願い

愛の献血にご協力ください!!

茨木市内での地域・団体献血スケジュール（地区福祉委員会および関係機関等がお手伝いしています）

実施日	実施場所	受付時間
2017年11月8日(水)	茨木市役所南館１階	午前10時～12時　午後１時～４時
11月18日(土)	アル・プラザ茨木	午前10時～12時　午後１時～４時
11月26日(日)	春日丘公園	午前10時～12時　午後１時～４時
12月10日(日)	アル・プラザ茨木	午前10時～午後４時
2018年2月17日(土)	阪急南茨木駅	午前10時～12時30分　午後１時30分～４時

※日程・時間は変更になる可能性がありますので、事前に事務局（茨木市社会福祉協議会内）までご確認ください。
※上記以外にも阪急茨木市駅献血ルーム（TEL.0120-34-6759）や各会場でも随時献血を受付けています。

問合先　茨木市献血推進協議会（TEL.627-0033）
北大阪赤十字血液センター（TEL.632-4747）

社協からのお知らせ

善意銀行報告 191
（平成29年５月～平成29年８月分）

善意の預託ありがとうございます（敬称略）

単位：円

５．10	長井裕子	他１回	計	21,000
５．10	山田美代子	他１回	計	66,000
５．24	ＪＡ茨木市ホームヘルパー手とての会			17,251
５．26	カフェぶいえいと	他３回	計	12,000
	※５月匿名５名			51,294
６．15	日本民謡　朝鳳会			5,000
６．16	山下まり子	他１回	計	20,000
７．７	花ごよみ			4,947
７．19	高下友明・恵子			5,000
７．27	池川清子			5,000
	※７月匿名２名			21,505
８．14	中谷庄一			10,000
	※８月匿名１名			150

福祉基金

５．10	（株）大商	1,000,000
８．９	日世（株）	194,403

物品預託

５．24	大藪幸雄	米
６．26	桃井千賀子	掃除機
７．６	水野厚子	スーツ、Ｔシャツ、カッターシャツ
７．20	上村行尚	冷風機

その他、匿名の物品預託

シーツ、洗剤、布団、衣服、コップ、皿、食品、鍋、テレビ、ガスコンロ、車椅子、おもちゃ、コピー用紙

～ 使用済み切手・カード・インクカートリッジ、プルタブ、ベルマーク、ペットボトルキャップ たくさんのご協力ありがとうございました ～

㈱りそな銀行茨木支店、㈱三菱東京ＵＦＪ銀行茨木支店、㈱カカエハウジング、㈱サンメンテナンス、お好み焼ききゃし屋、かわた鍼灸院、すみれ24の会、ひだまり、ほづみ保育園、ぽぽんがぽん、イオンモール茨木、カトリック茨木教会、カルム桜通り、シルバーアドバイザー茨木、シルバー人材センター、ジオ彩都のぞみ丘自治会、ダスキン沢良宜、ナルク茨木・摂津、パナソニック松愛会茨木摂津支所、ベストライフ南茨木、リハビリデイサービスコル、安藤幸江、医療法人恵仁会田中病院、井上一博、茨木ボランティア友の会、茨木市断酒会、茨木市南茨木多世代交流センター、茨木税務署、茨木療護園、浦川勝巳、駅前三丁目自治会、華稜会、貝出啓、外山時子、柿本照子、角山志栄子、学習塾Future、岩本要、橋本自動車工業㈱、玉樹たちばな保育園、近藤龍平、郡山団地自治会、高倉和代、高島整形外科、国分光子、今井美桜、今井佑香、今田恒孝、佐々木ソーイング教室、彩都オレンジリングの会、阪本浩子、山田美代子、山藤清乃、山本照義、社会福祉法人つつみ会 たんぽぽtriangle、社会福祉法人天王福祉会茨木学園、手嶋禎子、秀和自治会、住友生命茨木支社摂津シティ支部、小西一正、小北トヨ子、小林恵美、小林千晶、松井美代子、松山雄太、松尾日章、松本電気工事㈱、上泉町有志、新中条五十路会、森本園芸、垂水京子、水谷ヤエ子、杉谷みどり、杉田洋子、瀬戸川加江、清水一雄、清水由加利、生原操、西川道子、西田銀次、西日本高速道路ビジネスサポート㈱ 茨木営業所、青木静子、石橋勝吉、石黒崇子、石田千代、川原絹代、川村広、総持寺一丁目自治会、大玉多三予、大池Plus、大池１丁目４区、大池卓球同好会、大田明吉、第２茨木学園、中条公民館、中村敬司、中谷庄一、中津卓球同好会、中島てみ子、中野富子、町田京子、長谷川葉子、辻野玲子、庭屋和子、田原素子、田中康夫、日東ビジネスエキスパート㈱、白川３丁目交流会、畑田小学校区地域、半田麻里、尾内敏夫、浜崎好美、北奥美佐、北川哲平、柳川記茂

ホームページ http://www.ibaraki-csw.com/

第13回 いばらき孫・子・老 ふれ愛フェスタ

日時　平成29年11月14日(火)
正午～午後４時

場所　茨木市市民総合センター
（クリエイトセンター）

今回の内容
- 作品展示　●情報コーナー
- 紙アプリ（描いた魚が水槽の中で泳ぎます）
- 講演　第１部　終活とは
　第２部　遺品整理から見えてくるもの

※講演終了後、参加者に終活ノート（エンディングノート）プレゼント（300人まで）
※講演終了後、相談コーナー開設
成年後見制度、相続等、司法書士・税理士が相談を受け付けます。

主催　茨木市高齢者サービス事業所連絡会

受講生募集 北摂のシニア大学校

対象　シニア層どなたでも
学科　地域福祉を学ぶ科・SA認定
場所　豊中・吹田・高槻・池田
箕面・豊能の各市町内
定員　各教室15人（総員90人）
入学金　3,000円
受講料　本学科のみ24,000円
申込受付　12月８日までに必着
市内公共施設に設置の募集要項の申込書を郵送

申込み・お問合せ　大阪府北部コミュニティカレッジ
連絡事務所
〒567-0888茨木市駅前2-5-24　TEL.646-9422

３面のこたえ

お年寄り

右手の親指を曲げてふわふわっと外側から内側へ移動させます。

編集後記

今年の敬老会は台風等の影響で、中止あるいは延期を余儀なくされた地区もありましたが、その他の地区では地域の皆さんの温かいご協力のもと無事に開催することが出来ました。参加された方々には楽しい１日を過ごしていただけたかと思います。

最近は自然災害が多発しています。災害時の心構えやご近所との交流、そして避難所や災害セット等を今一度、家族みんなで確認をしておきましょう。（編集委員M）

編集発行者　茨木市社会福祉協議会（茨木市駅前四丁目7―55　茨木市福祉文化会館内）　〒567-0888　TEL627-0033　FAX627-0434　印刷　株式会社きかんしコム

ボラセン通信

072-627-0086
072-627-0107
ivc@ibaraki-csw.com
茨木　ボラセン

茨木市社会福祉協議会　ボランティアセンター

＼大盛況のうちに終了しました！／

ボランティア体験プログラム

～誰でも気軽で、楽しいボランティア活動を～

夏の期間を利用して、気軽にボランティア活動を体験できる「ボランティア体験プログラム」が、7月から9月の間に大阪府下市町村で開催されました。

茨木市内では38施設と15地区からご協力をいただき、76プログラムのメニューを、小学生から高齢の方まで計204人が体験されました。

体験密着レポート！ 地域の子どもたちが集まる 食堂運営のお手伝い

高校1年生の芳村さんと稲山さん

活動の流れ

1 **申し込み：**たくさんのプログラムの中から、自分のやりたいメニューを決めて申し込みをします。ボラセンが調整をして、後日決定通知をお送りします。

2 **事前説明：**その日の活動内容や施設についてなど、活動が始まる前に担当者から話を聞きます。

3 **いざ活動！：**担当者の指示を受けながら、それぞれの活動に励みます。

体験者の声

☀芳村さん
ボランティア体験を通して、地域の人と仲良くできてとても嬉しく、自分もボランティアを続けてみたいと強く思いました。

☀稲山さん
初めての経験ばかりで緊張もしたけど、楽しかったです。

全1回 視覚障がい者手引きボランティア養成講座

あなたのその“優しさ”が
視覚障がい者への“光”となります！

★11月6日(月) 午前10時～午後3時

内容
- 手引きの具体的な方法について
- アイマスクを着用しての外出体験と食事体験
- 視覚障がいの方のお話～私たちの毎日の暮らし～　など

協力　手引きグループ「クローバー」

全2回 精神保健ボランティア入門講座

こころの病には、“地域との繋がり”
“人の寄り添い”が求められています

★11月13日(月) ★11月20日(月) いずれも 午前10時～12時

内容
- こころの病気とは？
- 精神障がいとそれを支えるボランティア活動について
  ～お茶を飲んだり、畑を耕したり…～　など

共催　精神保健ボランティア夢ふうせん

いずれもお申込み・お問合せはボランティアセンターまでお電話ください。TEL.072-627-0086